

平成30年度

公益財団法人舞鶴市文化事業団の経営状況を説明する書類

(事業の計画に関する書類)

# 目 次

I 事業計画 . . . . . 1

II 収支予算書 . . . . . 5

## 平成 30 年度 事業計画

### 1. 基本方針

舞鶴市文化事業団では、「優れた文化芸術に親しむ機会をより広く市民に提供するとともに、文化芸術の創造活動の奨励及び育成を図り、もって心豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の構築に寄与する」ことを目的とした事業を実施してきました。

平成 30 年度は第 3 期指定管理期間(平成 26 年度から 30 年度まで 5 年間)の最終年度として、この目的と舞鶴市文化振興基本指針の理念を念頭に置いて、管理施設の内外を問わず文化芸術の振興・発信など積極的に取り組んで参ります。

### 2. 事業内容

#### (1) 豊かな文化芸術環境づくり（鑑賞機会の提供事業）

音楽、伝統芸能、ミュージカル、映画など市民のニーズを反映した様々な分野の優れた舞台公演を実施し、小さな子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が本物の舞台芸術を身近に鑑賞できる機会を提供します。

ただ鑑賞するだけでなく、市民が参加できるような企画を盛り込み、より身近に文化芸術に触れていただけるような工夫をします。

No.	実施時期	事業名	事業概要	見込み人数
1	6/14(木)～ 6/16(土)	〈(一財)地域創造助成事業〉 公共ホール音楽活性化支援事業	プロの演奏家による演奏会と地域や学校におけるアウトリーチの実施。 クワチュール・ペー(サクソ四重奏) 中川賢一(ピアノ) (小ホール)	180
2	7/16(月)	大阪フィルハーモニー交響楽団 演奏会	一流オーケストラのクラシック演奏会。 指揮:秋山和慶 ピアノ:牛田智大 [楽器(吹奏楽)ワークショップ]	600
3	8/25(土)	HANAGATA2018 真夏の狂言大作戦!	茂山千五郎家 若手ユニット「HANAGATA」による、狂言に馴染みのない方にも親しみやすい内容。公設館7館との連携事業。	600
4	9/15(土)	きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル 「ソドー島のたからもの」	子どもから大人まで楽しめる、映像と自走式機関車が舞台上を駆け巡る迫力一杯のミュージカルライブステージ。2回公演。	1,200
5	11/ 4(日)	劇団四季 ソング&ダンス 65	創立 65 周年を迎える劇団四季のこれまでの歩みとこれからの道を、代表的なミュージカルナンバーに乗せて、歌とダンスで紡ぐショー形式の作品。	1,000

6	12/15(土)	佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ 演奏会 2018	世界で活躍するマエストロ佐渡裕と、日本を代表するプロの吹奏楽団であるシエナ・ウインド・オーケストラの至上最強コンビが贈るブラスコンサート。	1,300
7	3/17(日)	舞鶴寄席	伝統芸能である「落語」を身近に鑑賞できる機会として、地元出身落語家にゲストを加えた落語会。 (小ホール)	200
8	1月実施 で申請	〈文化庁優秀映画鑑賞推進事業〉 市民名画座	東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の旧作・秀作を借用し上映。(小ホール)	200

### (2) 市民による自主文化活動の促進・支援（提案型施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンターの各施設を、市民による自主文化芸術活動の発表の場あるいは練習の場として広く市民に開放し、地域住民の文化芸術活動への支援や文化を通じた市民の交流の促進を図り、地域文化のレベルアップと市民の文化活動の育成に努めます。

単なる施設貸与を行うのではなく、舞台・照明・音響等について専門的なアドバイスや指導を積極的に行い、施設を利用する市民と一緒に完成度の高い舞台創りに努め、市民文化の環境づくりを推進します。

また、市民の幅広いニーズに応えるために、各年齢層に人気のある舞台公演や、芸術性の高い舞台公演の積極的誘致に努め、文化の幅の拡大、文化活動の活性化を推進します。

### (3) 地域文化の創造と人材の育成（創造・普及・育成事業）

地域文化の創造と、地域文化の新たな担い手となる人材育成を目的に、中長期的視野に立って、広範囲なワークショップ、アウトリーチを計画しています。次代を担う子どもたちや、ホールを訪れる機会のなかった市民が本物の文化芸術に触れる機会を提供するために、地域や学校にプロのアーティストや、地元の文化芸術団体と連携して講師を派遣します。

ワークショップ、アウトリーチ等を通じて新たな価値観に触れる機会を提供する事業を継続して実施します。

No.	実施時期	事業名	事業概要	会場
1	4～8月	落語ワークショップ	舞鶴出身の落語家を講師に、落語の楽しさを体験するワークショップ。5回の稽古を経て、成果発表を行う。	会館
2	6/14(木) 6/15(金)	〈(一財)地域創造助成事業〉 音楽アウトリーチ	子どもたちが、本物の音楽に触れる機会を設けるために、プロのアーティストが訪問して音楽指導。	学校 地域
3	7月	楽器(吹奏楽)ワークショップ	プロのアーティストの指導による吹奏楽のワークショップ。	学校

4	8～9月	まいづる物語プロジェクト 2018	29年度から3年計画で行うプロジェクトの2年目。“まいづる”の写真やエピソードの展示、それを基にした短編演劇作品の制作・上演に市民が参加。 講師：ごまのはえ(演出家)	地域 会館
5	通年	舞鶴アート・プログラム・ デリバリー2018	舞鶴市教育委員会、舞鶴市文化協会との連携により、文化芸術団体から講師を選定し、学校や地域へ派遣する教育プログラム。	学校 地域

#### (4) 文化力の向上と地域コミュニティの活性化（参加交流活性化事業）

音楽をはじめとする創作活動を主体的に行っている市民の文化活動を支援するとともに、日頃の成果を発表する機会を提供することにより、市民の文化交流の活性化を図ります。

総合文化会館の前庭や大ホールホワイエの活用、館内を巡るツアー、フルコンサートピアノの最高峰と言われるスタインウェイを、ホールの空き日を利用して市民が試奏できる機会を設けます。

また、和太鼓や合唱など地元の文化団体の自主的な活動の支援に努めます。

No.	実施時期	事業名	事業概要	見込み 人数
1	4～5月	憧れのスタインウェイを 弾いてみよう！	音響反射板を設置した舞台上でスタインウェイを弾く市民を公募。	50
2	8/11(土) 8/12(日)	劇場のひみつ ～総合文化会館を探検しよう～	普段は見るできない劇場のウラ側を市民に公開。	60
3	3/ 3(日)	ミュージック フェスティバル 2019	本市を中心に音楽活動をする個人・団体が出演。プランナーズ'21と出演者が実行委員会を組織し実施。	400
4	通年	コミュニティコンサート コミュニティ作品展	市民文化活動の発表・育成支援の場として開催。プランナーズ'21との連携事業。	1,000
5	6/ 9(土)～ 6/17(日)	第50回舞鶴市展	舞鶴市と共催 (舞鶴赤れんがパークで実施)	-
6	7/15(日)	第32回中丹文化芸術祭 「踊りとダンスの祭典」	中丹文化芸術祭実行委員会と共催	700
7	10～11月	平成30年度 舞鶴市総合文化祭事業	舞鶴市文化協会と共催 (舞鶴市内各施設で実施)	-
8	11/18(日)	第47回舞鶴市民合唱祭	舞鶴市民合唱祭実行委員会と共催	800
9	12/ 2(日)	第17回 舞鶴和太鼓フェスティバル	舞鶴和太鼓連盟と共催	1,100

#### (5) 文化施設の管理運営（公益目的事業以外の施設貸与事業）

舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンターの指定管理者として、市民の教養活動や福祉の増進、あるいは興行・商業振興等、公益目的以外でも、舞鶴市民並びにその他の者に各施設を貸与することにより、利用者の利便を図り施設の有効活用に努めます。

また、そのためにも施設・設備等の点検を強化し、「安全」「安心」「快適」な施設を提供していきます。

### 3. 法人の効率的運営と文化振興の推進機能向上の取り組み

#### (1) 情報公開推進への取り組み

ホームページを随時更新し、情報公開の推進、積極的な情報発信に努めます。

#### (2) 市民サービス向上への取り組み

○ チケットのインターネット販売システムの利用を促進するためのより積極的な周知に努めます。

○ 舞鶴市の文化情報検索・発信サイト「まいづる文化情報」の適切な運用を促進し、市内で活動する文化団体や、ホール、公民館等で行われている催し物などの文化情報をタイムリーに提供します。

○ 利用者の意見・要望を集約し、顧客情報の集積・管理することにより、よりよい運営につなげます。

○ 市民が文化芸術へ参加する機会を確保し、参加することにより間接的に施設の事業や運営の支援につながることを目的に設置した「友の会」の円滑な運営を行います。

#### (3) 管理コスト削減への取り組み

極めて厳しい財政状況を踏まえ、事業の実施に当っては創意工夫による経費節減に努めるとともに、各種団体の助成金・助成事業の獲得など支援先の確保に努め、収支状況の改善に積極的に取り組みます。

#### (4) 職員の資質向上について

公益事業を推進する組織の一員として、また、舞鶴市文化振興基本指針を踏まえて、当事業団職員が本市の文化振興を担う職責と公益的使命をより深く自覚し、施設の管理運営だけでなく、本市の文化振興を総合的にプロデュースするという、当事業団に求められている役割に応えられるよう職員の資質向上に努めます。

# 平成30年度 収支予算書

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
I 一般正味財産の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,000	2,500	△ 1,500	
基本財産受取利息	1,000	2,500	△ 1,500	
② 受取会費	200,000	200,000	0	
受取会費	200,000	200,000	0	
③ 事業収益	35,745,000	29,184,000	6,561,000	
利用料収益	8,000,000	7,200,000	800,000	
入場料収益	23,325,000	18,974,000	4,351,000	
実費徴収金収益	3,840,000	2,400,000	1,440,000	
手数料等収益	580,000	610,000	△ 30,000	
④ 受託収益	35,390,000	35,390,000	0	
管理受託収益	33,775,000	33,775,000	0	
事業受託収益	1,615,000	1,615,000	0	
⑤ 受取補助金等	60,664,000	63,653,202	△ 2,989,202	
事業補助金	7,020,000	9,010,000	△ 1,990,000	
管理運営補助金	53,644,000	54,643,202	△ 999,202	
⑥ 受取寄付金	0	1,000	△ 1,000	
受取寄付金	0	1,000	△ 1,000	
⑦ 雑収益	511,000	457,000	54,000	
受取利息	1,000	7,000	△ 6,000	
雑収益	510,000	450,000	60,000	
経常収益計	132,511,000	128,887,702	3,623,298	
(2) 経常費用				
① 事業費	134,843,899	128,007,560	6,836,339	
報酬	86,000	103,000	△ 17,000	
給料	29,420,100	31,034,100	△ 1,614,000	
職員手当	10,761,895	10,904,749	△ 142,854	
職員退職給付費用	1,897,320	1,843,200	54,120	
賞与引当金繰入額	3,113,190	3,014,179	99,011	
福利厚生費	6,633,915	6,778,632	△ 144,717	
賃金	28,000	54,000	△ 26,000	
報償費	1,220,000	720,000	500,000	
旅費交通費	159,000	270,000	△ 111,000	
消耗什器備品費	192,000	190,000	2,000	
消耗品費	1,485,000	1,526,151	△ 41,151	
燃料費	2,494,800	2,178,000	316,800	
食糧費	186,000	99,000	87,000	
印刷製本費	590,000	707,000	△ 117,000	
光熱水費	12,424,500	12,375,000	49,500	
修繕費	1,100,000	1,100,000	0	
通信運搬費	662,400	640,500	21,900	
広告宣伝費	3,715,000	3,865,000	△ 150,000	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度補正後 予算額	増減額	備考
手数料	1,045,000	965,000	80,000	
保険料	172,000	163,000	9,000	
委託費	55,976,980	47,702,620	8,274,360	
賃借料	1,153,870	775,760	378,110	
負担金	99,000	100,000	△ 1,000	
租税公課	93,430	503,090	△ 409,660	
減価償却費	124,499	373,803	△ 249,304	
支払利息	0	6,776	△ 6,776	
雑費	10,000	15,000	△ 5,000	
② 管理費	<b>3,281,304</b>	<b>3,297,826</b>	<b>△ 16,522</b>	
役員報酬	940,000	940,000	0	
給料	1,091,100	1,067,100	24,000	
職員手当	436,048	271,868	164,180	
職員退職給付費用	58,680	76,800	△ 18,120	
賞与引当金繰入額	96,284	125,591	△ 29,307	
福利厚生費	205,172	351,402	△ 146,230	
旅費交通費	20,000	10,000	10,000	
消耗什器備品費	8,000	10,000	△ 2,000	
消耗品費	64,000	72,955	△ 8,955	
燃料費	25,200	22,000	3,200	
食糧費	3,000	5,000	△ 2,000	
光熱水費	125,500	125,000	500	
通信運搬費	21,600	23,500	△ 1,900	
手数料	1,000	1,000	0	
委託費	118,020	117,380	640	
賃借料	4,130	4,240	△ 110	
負担金	51,000	56,000	△ 5,000	
租税公課	2,570	6,910	△ 4,340	
減価償却費	0	1,080	△ 1,080	
雑費	10,000	10,000	0	
経常費用計	138,125,203	131,305,386	6,819,817	
当期経常増減額	△ 5,614,203	△ 2,417,684	△ 3,196,519	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税等支払額	380,000	200,000	180,000	
当期一般正味財産増減額	△ 5,994,203	△ 2,617,684	△ 3,376,519	
一般正味財産期首残高	25,978,462	28,596,146	△ 2,617,684	
一般正味財産期末残高	19,984,259	25,978,462	△ 5,994,203	
II 指定正味財産の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0	
III 正味財産期末残高	29,984,259	35,978,462	△ 5,994,203	

(注) 1. 借入金限度額 20,000千円

# 平成30年度 収支予算書内訳表

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
<b>I 一般正味財産の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	1,000				1,000
基本財産受取利息	1,000	0	0		1,000
② 受取会費	200,000	0	0		200,000
受取会費	200,000	0	0		200,000
③ 事業収益	29,739,800	6,005,200	0		35,745,000
利用料収益	4,188,000	3,812,000	0		8,000,000
入場料収益	23,325,000	0	0		23,325,000
実費徴収金収益	2,046,800	1,793,200	0		3,840,000
手数料等収益	180,000	400,000	0		580,000
④ 受託収益	25,627,083	8,469,197	1,293,720		35,390,000
管理受託収益	24,012,083	8,469,197	1,293,720		33,775,000
事業受託収益	1,615,000	0	0		1,615,000
⑤ 受取補助金等	49,510,000	9,266,716	1,887,284		60,664,000
事業補助金	7,020,000	0	0		7,020,000
管理運営補助金	42,490,000	9,266,716	1,887,284		53,644,000
⑥ 受取寄付金	0	0	0		0
受取寄付金	0	0	0		0
⑦ 雑収益	11,400	399,300	100,300		511,000
受取利息	400	300	300		1,000
雑収益	11,000	399,000	100,000		510,000
経常収益計	105,089,283	24,140,413	3,281,304		132,511,000
(2) 経常費用					
① 事業費	112,787,832	22,056,067			134,843,899
報酬	86,000	0			86,000
給料	24,402,024	5,018,076			29,420,100
職員手当	8,962,939	1,798,956			10,761,895
職員退職給付費用	1,564,800	332,520			1,897,320
賞与引当金繰入額	2,567,580	545,610			3,113,190
福利厚生費	5,471,270	1,162,645			6,633,915
賃金	28,000	0			28,000
報償費	1,220,000	0			1,220,000
旅費交通費	134,000	25,000			159,000
消耗什器備品費	144,000	48,000			192,000
消耗品費	1,161,000	324,000			1,485,000
燃料費	1,738,800	756,000			2,494,800
食糧費	186,000	0			186,000
印刷製本費	476,000	114,000			590,000
光熱水費	8,659,500	3,765,000			12,424,500
修繕費	682,000	418,000			1,100,000
通信運搬費	592,800	69,600			662,400
広告宣伝費	3,715,000	0			3,715,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	文化芸術振興事業	施設貸与事業			
手数料	901,900	143,100			1,045,000
保険料	118,420	53,580			172,000
委託費	48,918,600	7,058,380			55,976,980
賃借料	770,930	382,940			1,153,870
負担金	80,000	19,000			99,000
租税公課	71,770	21,660			93,430
減価償却費	124,499	0			124,499
支払利息	0	0			0
雑費	10,000	0			10,000
② 管理費			<b>3,281,304</b>		<b>3,281,304</b>
役員報酬			940,000		940,000
給料			1,091,100		1,091,100
職員手当			436,048		436,048
職員退職給付費用			58,680		58,680
賞与引当金繰入額			96,284		96,284
福利厚生費			205,172		205,172
旅費交通費			20,000		20,000
消耗什器備品費			8,000		8,000
消耗品費			64,000		64,000
燃料費			25,200		25,200
食糧費			3,000		3,000
光熱水費			125,500		125,500
通信運搬費			21,600		21,600
手数料			1,000		1,000
委託費			118,020		118,020
賃借料			4,130		4,130
負担金			51,000		51,000
租税公課			2,570		2,570
減価償却費			0		0
雑費			10,000		10,000
經常費用計	112,787,832	22,056,067	3,281,304		138,125,203
当期經常増減額	△ 7,698,549	2,084,346	0		△ 5,614,203
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0	0	0		0
(2) 經常外費用					
經常外費用計	0	0	0		0
当期經常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	773,816	△ 773,816	0		0
法人税等支払額	0	380,000	0		380,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,924,733	930,530	0		△ 5,994,203
一般正味財産期首残高					25,978,462
一般正味財産期末残高					19,984,259
II 指定正味財産の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高					10,000,000
指定正味財産期末残高					10,000,000
III 正味財産期末残高					29,984,259